

# 名木といききの道

いききの道を歩き、いにしへの旅人の気分を味わうコース。  
古刹巡りや名木との出会いも楽しめます。

## いききの道



龍神社

## 東郷寺のシダレザクラ



## 古刹と名木を訪ねて

竹林が美しい妙光院から化狸物語が伝えられる安養寺へ。モミノキが名木百選です。日吉神社、天神坂、名木百選のクスノキを経て、甲州への道として使われていた京所道に。京所は経所が転じたもので、国府の写経所があったことに由来するといわれています。普門寺(目の薬師様)から府中競馬正門前駅へ。

## ヤブツバキの頃がおすすめ

溝合神社からまむし坂を右に見て本願寺へ。2月頃、いききの道でヤブツバキが赤い花を咲かせる風景は、府中30景に選ばれています。はけた坂を上って、諏訪神社へ立ち寄ったら、府中崖線白糸台緑地を通り、飛田給駅へ。

## 龍神社から東郷寺

いききの道は後道、はけた道のほか、龍神社の崖上を通ることから御龍の道とも呼ばれます。階段を下りると、御神木で名木百選のケヤキがあります。清水が丘緑地を経て東郷寺山門へ。参道右手のシダレザクラは名木百選。イロハモミジも名木百選です。東郷寺下の交差点まで下り、いききの道に戻ります。

京王線・飛田給駅

約25分



14 諏訪神社

約10分

13 はけた坂

約45分

11 本願寺

約10分

9 東郷寺

約20分

8 龍神社

約45分

7 国府八幡宮

約5分

2 大國魂神社

京王線・府中駅

所要時間：約2時間40分  
6.4 km



15 府中崖線白糸台緑地

12 車返八幡神社

10 溝合神社

6 普門寺

5 名木のクスノキ

4 安養寺

3 妙光院

1 馬場大門のケヤキ並木



いききの道由来碑

## 坂の名も由来も面白い

天地の坂から八幡道を通って国府八幡宮へ。この坂は下に天地の屋号を持つ水車があったことが由来と言われています。途中にある馬坂の由来は明らかではありませんが、府中は古くから馬との係わりが深い町で、近世には馬市が盛んに行われていました。柳の大木があったとも伝えられている柳坂を上がると、いききの道の道標があります。この道は「後道」「はけた道」とも言われ、多摩川上流の後流しの乗り子衆が江戸からの帰途に往来したことに由来します。東海道の大井付近から甲斐国府へと続いていた甲州古道の一部と伝えられています。



**大國魂神社**  
景行天皇41年(111年)、武蔵国の護り神として大國魂大神をまつたのが始まりとされています。平安時代には武蔵国総社となり、さらには六神社を合祀して総社六所宮と称されました。5月5日の「くらやみ祭」では、神輿巡行に日本一の大大鼓が登場します。

## 大國魂神社の境内を歩く

府中駅を出発し、けやき並木通りを大國魂神社へ。この並木は国の天然記念物で、起源は平安時代に遡ると伝えられています。大鳥居前の大ケヤキをはじめ、境内のコウヨウザン、ムクノキ、大イチョウ、ケヤキが名木百選に選定されています。また境内にある「ふるさと府中歴史館」では、武蔵国府関連の資料や、府中の歴史文化に関する展示を見ることができます。宮東公園を通り妙光院へ。イチョウが名木百選です。



大國魂神社大鳥居前の大ケヤキ



ふるさと府中歴史館  
マスコットキャラクター  
ムサシカメ丸